



明治六年二月七日、仇討禁止令布告。
二つの魂が交差する。

柘榴坂の仇討

ざくろざか

あだうち



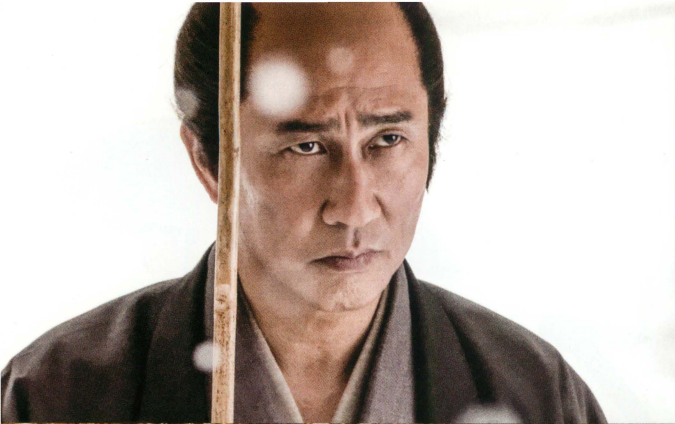
中井貴一 阿部寛 広末涼子 / 中村吉右衛門

原作:浅田次郎 (『五部治殿御始末』所収 中央公論新社刊/新潮文庫刊)

監督:若松節朗 (『改まぬ太閤』『ホワイエアツ!』) 音楽:久石譲

脚本:高松宏伸 飯田龍三郎/長谷川康夫 zakurozaka.com

浅田文学の最高峰、待望の完全映画化!



「桜田門外の変」で
敬愛する主君・井伊直弼を失い、
敵を探し続ける男



大老を暗殺した後、身を隠し、
俵引きとして生きる孤独な男



そして二人を陰で支える
心優しい女たち——

江戸から明治へと
激変する時代のなか、13年後、
二人の男が遂に出会ったとき、
そこには思いがけない
運命が待ち受けていた——



幕末から明治へと世の中が激しく動く中、侍たちは如何にして己の始末をつけ、時代の垣根を乗り越えたのか。激動の時代と言われる今の時代にごそ問われる、「日本人の矜持」「日本の美しさ」が凝縮した浅田文学の最高峰が、最高のキャストとスタッフを得て、鮮やかにスクリーンを彩ります。どうぞご期待ください。

主君の仇討を胸に、誇りと覚悟を持ち続ける「最後のサムライ」志村金吾を演じるのは中井貴一。「桜田門外の変」の後、身を隠し、俵引きとして生きる孤独な浪士・佐橋十兵衛役には阿部寛。金吾の妻セツ役には、「おくりびと」など、献身的な愛情で夫を支える役で印象深い広末涼子。そして井伊直弼を演じるのは、人間国宝の歌舞伎役者・中村吉右衛門というのも、大きな話題です。監督は『沈まぬ太陽』『ホワイトアウト』など、大作でありながら人間ドラマを感動的に描く手腕で名高い若松節朗。音楽は数々の名作を手掛ける映画音楽の第一人者、久石譲が担当します。

『鉄道員(ぽっぽや)』『壬生義士伝』など映画化作品も数多い、当代きっての人気作家、浅田次郎。2004年発表の短編集『五郎治殿御始末』所収の中でも、名作の誉高い一編「柘榴坂の仇討」が映画化されます。

9月20日(土)全国ロードショー